

松浜小学校区

平成21年2月3日(火)午後7時から
北出張所大ホールにて
参加者23名

みんなで考えた 地域活動の内容と活性化のための工夫

活動内容

- ・町内会単位で夏休みに地引網のイベントを行い、つかみ取り、宝探しの企画を行う(外国人から地引網体験の要望がある)
- ・町内清掃ハイキング
- ・海岸清掃
- ・海辺の森キャンプ
- ・ラジオ体操祭や日帰り旅行などを実施している

工夫

- ・参加者を固定させないため、回覧を回して情報を流している
- ・学校の文化祭を活用して学校と地域が交流する
- ・中学生に祭の山車をつくってもらうなど、学校から地域まで生徒に来てもらう
- ・育成協とコミ協の協働
- ・町内の知り合いの参加
- ・参加することによる楽しみ

Aグループ



Bグループ



活動内容

- ・松浜祭で、子供がみこしをかついで町内を巡回する
- ・盆踊り大会
- ・独居高齢者への友愛訪問
- ・下水道掃除
- ・不用品の交換会
- ・元旦マラソン、町内運動会(昔はやっていた)

工夫

- ・行政からも参加を呼びかける
- ・町内の人が一人居ても出ていると行きやすいので、各町内から一人は必ず出席してもらう
- ・楽しみがないと人は来ないので、豚汁、芋煮を提供したり、町内対抗バケツリレーゲーム等を行う
- ・公共施設を使いやすくしてほしい
- ・広報誌の工夫が必要

活動内容

- ・町内会対抗野球大会
- ・手作りイカダレース
- ・松浜祭、子どももちつき大会
- ・町内で老若男女が集まり、カラオケ大会
- ・青空バザール
- ・芸能発表会、運動会
- ・コミ協が主催して3年目の青空お茶のみ会

工夫

- ・「何かあったときに助けない」などの危機意識を与えることで防災訓練などに参加してもらう
- ・小学校の連絡網をうまく使う
- ・情報は分かりやすいように要点を絞って伝える
- ・景品を用意して人を集める

Cグループ



Dグループ



活動内容

- ・自分の故郷や会社などを紹介する(松浜地区は新規住民が多い)
- ・習字など自分の特技を披露する
- ・地域の運動会
- ・ゴミ拾い後の交流会
- ・餅つき大会、バーベキュー大会、地引網など食べ物に関するイベントを行う
- ・子供(吹奏楽部)が振込詐欺防止の寸劇をやる

工夫

- ・催事の準備を通して交流
- ・バーベキューで火の始末を子供にやらせ、子供に火の扱い方を教える
- ・大人子供が参加する抽選会
- ・町内どうしの対抗
- ・若い人が多い消防団の活用
- ・児童公園の利用
- ・活動を欲張らない
- ・資源回収で資金調達(婦人部会)

亀田西小学校区

平成 21 年 2 月 4 日（水）午後 7 時から
江南区役所 302 会議室にて
参加者：23 名

みんなで考えた 地域活動の内容と活性化のための工夫

活動内容

- ・スポーツ振興会が、年 3 回ほど、ソフトバレー、太極拳、ソフトテニスの大会を実施している
- ・夏祭り、町内ハイキング
- ・子供たちの地域見学
- ・いきいきサロン（地域の茶の間）で、親子、祖父母と孫が参加している
- ・PTA が、プール開放を通して地域と子どもをつないでいる

工夫

- ・公園清掃、廃品回収に子どもも参加してもらい、ついでに親にも来てもらう
- ・2つのルートで呼びかける
- ・アパートの人にも表札くらいは出してもらいよう戸別依頼
- ・中学生に子どもの世話をするなど地域の役割を与える
- ・いきいきサロンの活用
- ・男性の役割、目的の植え付け
- ・回覧伝達後のアンケート

Aグループ



Bグループ



活動内容

- ・町内友好祭、年に1回各サークルの発表会
- ・西小フェスティバル（学校行事）
- ・四区文化祭で作品展
- ・秋祭りに連動して区の子ども祭りを実施
- ・PTAバザー
- ・町内バーベキュー
- ・町の名所めぐり散歩

工夫

- ・部活など若い人の含まれる団体そのものに呼びかける
- ・囲碁や将棋を教えることで、高齢者の文化祭に若い人を呼び込む
- ・既存の施設を利用し、子どものたまり場をつくり、地域の人が出向く
- ・江南区便りの亀田版を発行し、学校に地域活動の掲示板を置いてもらう

活動内容

- ・中学生への救急法講習会開催
- ・中学生が自治会と協働して防犯パトロールに参加し、散歩者、小学生等とあいさつ
- ・小学生が亀田甚句、樽たたきなど郷土芸能の練習
- ・地区対抗の運動会、雪合戦
- ・どんと焼き、ふれあい教室
- ・地域のマップを作り町の中に張り出す

工夫

- ・中学のクラブ活動の一環で地域の防災訓練に参加してもらう
- ・地域活動で無理をしないように、買い物の途中に防犯パトロールと一緒にやる
- ・参加賞品で人を寄せる
- ・子供が参加できる体験型イベントの実施
- ・小学校のクラブ発表会を地域で開催する

Cグループ



Dグループ



活動内容

- ・文化祭で展示を行う
- ・自治会ハイキング
- ・町内まつり、先だいこ、甚句流し
- ・桜花見の会、友交祭
- ・NPO福祉“しゃべり居間”の活用
- ・いきいきサロンの活用
- ・交通安全活用、下校パトロール
- ・元旦マラソン、町主催ハイキングは昔は実施していた

工夫

- ・小学生を中学生が守るような取り組みを行う
- ・亀田製菓と連携して工場見学を行う
- ・商店街と連携して地域に割引券を出してもらう
- ・父親の引きこもりを防ぐ
- ・中学生の部活を活用
- ・あんまり無理をしない

第2回ワークショップにおける意見とりまとめ

有明台小学校区（古くからの住宅と商業施設が混在する人口密集地）

- ・有明台小学校区は、新潟市の中心部近くにあるため事業所が多く、事業所の人たちにも地域のことをしてほしい、企業の所有するビルの屋上に上げてほしい、病院として無料で応急手当講習をできるか、といった意見が出されました。
- ・地域活動に人を集めるためには、ポイントや景品で「釣る」のがよいとの意見が出されましたが、景品ばかりに目がいて、安全・安心について地域で考えるという本来の目的を忘れてはいけないという意見も出されました。
- ・アルビレックス応援やもちつき大会など、それ自体楽しめる活動も多く挙げられました。

松浜小学校区（工業地に隣接する住宅地で外国人比率が比較的高い地域）

- ・バーベキューで火の始末を子供にやらせ、子供に火の扱い方を教えるなど、防災を前面に出すのではなく、「それ自体が楽しい」イベントにさりげなく防災要素を組み込むのがよいとの意見が出されました。
- ・松浜地区は新規住民が多いため、自分の故郷や会社などを紹介したり、習字や詩吟など自分の特技を披露する場を設けることが交流の拡大に良いのではないかという意見が出されました。
- ・学校の生徒が振込詐欺防止の寸劇をするなど、子どもが地域貢献をしている事例がありました。

亀田西小学校区（古くからの住宅と新興住宅が共存する郊外住宅地）

- ・公園清掃、廃品回収に、学校と地域が共同して実施し、子どもも参加してもらうことでついでに親にも来てもらい、参加層を拡大させることができるのでは、という意見が出されました。
- ・中学生に子どもの世話をするなど地域での役割を与えることで、中学生を地域活動に巻き込もうという意見が出されました。
- ・若い人への個別参加依頼は難しいので、部活など若い人の含まれる団体そのものに呼びかけるのがよいという意見が出されました。
- ・学校内に地域活動の掲示板を置かせてもらい、地域に子どもを呼び込むほかに、学校の近くの児童館などの子どもの「たまり場」をつくってそこに地域が入っていく方法もあるとの意見が出されました。
- ・亀田製菓など、周辺の企業の工場見学を企画してはどうかとの意見が出されました。